

じんけんそんちょう
人権尊重を

しっているから
しているへ

ばあばが^{ちゅうがくせい}中学生の頃の^{ころ}
セーラー服姿、
かわいいなあ！

そんな頃^{ころ}もあったなあ。
でも、本当は
「スカート、はきたくない」
って思^{おも}ってた。
誰^{だれ}にも言^いえへんかった
けど…。

今は、ブレザーで、
スカートかスラックスを
選^{えら}べるようになってるよ！

ばあば

あい
さん

アルバムを見るじいじ

わたしたちの身^みの回りには様々なルールがあり、それらに基づいた行動^{こうどう}を常^{つね}に求められます。
ルールは、社会^{しゃかい}の秩序^{ちつじょ}を維持し、個人^{こじん}の権利^{けんり}を擁護^{ようご}し、公正^{こうせい}さを確保^{かくほ}するために不可欠^{ふかへつ}です。

しかしながら、例えば「ブラック校則^{こうまく}」と言われるものでさえ守^{まも}ることを強要^{きやうよう}されるように、
ルールが実情^{じつじよう}に合わない場合^{ばあい}でも、「変^かえること」より「守^{まも}ること」に力^{ちから}が注^{そそ}がれがちです。
そもそも、ルールは民主^{みんしゅ}的な手続^{てつづ}きによって、作^{つく}ったり変^かえたりできるはずなのですが…。

誰^{だれ}一人取り残^{とこ}さない社会^{しゃかい}に向けて、身^みの回り^{まわり}のルールやしくみについて考^{かんが}えてみましょう。

2026 甲賀市^{こうか}人権啓発教材^{じんけんけいはつきょうざい}

～豊かな人権文化^{じんけんぶんか}の創造^{そうぞう}に向けて～

発行^{はっこう}／甲賀市^{こうか}・甲賀市^{こうか}教育委員会^{きやういく いんかい}

キャラクターイラスト・4コマ漫画^{まんが}：万湊^{ばんり}

ひ　と　り ち　が そもそも一人ひとりが違うから

1. 事例をもとに話し合しましょう。

小学校の運動会は、実施種目や競技方法が学校によって少し違います。
次の表は、3つの小学校の徒競走の方法です。なぜ、この方法になっているのでしょうか。理由を考えてみましょう。

(※ A～Cの小学校は架空の事例です。)

小学校	徒競走の方法	この方法になっている理由
A	スタート時にピストルの音を鳴らすのではなく、旗を振り上げて合図をします。子どもたちは遅れずに走り出そうと旗の合図に集中します。	
B	練習時に8秒間で到達できる距離を測り、それによってスタート地点が決まります。子どもたちは8秒以内にゴール地点まで到達しようと全力で走ります。	
C	男女の区別なく、同じくらいの走力の子も同士が並んで走り、タイムを計ります。子どもたちは練習時のタイムを上回ろうと全力で走ります。	



だれひとりのこ 誰一人取り残さないしくみを！

2. どちらかのエピソードを選んで、話し合ってみましょう。

エピソード①

うちの地域では、一人暮らしの高齢者世帯が増えており、その中でもDさんは孤立しかけています。どうしたらいいでしょう。

エピソード②

うちの地域に最近、小学生と幼児がいるひとり親世帯のEさんが引っ越してきました。困ったことがあっても誰にも頼ろうとしません。どうしたらいいでしょう。



じいじ

家庭の問題やから、立ち入れんわ！



甲ちゃん

このまま放っておいても解決しないよ。

解決に向けたアイデアが必要では？



ばあば

(1) DさんやEさんはどんなことに困っているのか想像してみましょう。

困っていること

困っている人が「困っている」って正直に声を上げるのは、かなりの勇気が要ると思うわ。



いさん

(2) 地域でサポートできそうなアイデアを考えましょう。

アイデア

アイデアをいっぱい出すために

× NGセリフ

「それ、あかんのちゃうん」(批判しない)

「そんな無理やろ」(自由な発想を歓迎)

◎ おすすめセリフ

「もっとない？ 他には？」(質より量)

「それええやん。さっきの意見と

合わせたらさらにいいね」(統合と改良)

参考：(ブレインストーミングの4原則)



YOUさん

人は、生まれた環境、持っている能力や性質がそれぞれ違っています。それによって、社会的・経済的に有利であったり不利であったりする格差が生まれることがあります。そのような格差は、本人にさらなる努力を求めたり、持って生まれた性質を変えたりすることによってなくなるのでしょうか。

個人の能力は本人の努力で変えられるものもありますが、変えられないものもあります。例えば、障がいのある子どもが本人の努力だけでそれを克服できないこともあります。また、持って生まれた性質を本人の意に反して、変えるように強いることもできません。

わたしたちは、格差がある社会で生きています。本人の努力だけで変えることができない状況が続くと、格差が固定・拡大していきます。その格差をなくしていくためには、社会的に不利な立場にある人が不利にならないように配慮することが必要です。しかし、それを見て「ずるい」と思う人がいます。それは、その人が置かれている状況や背景を見ずに、配慮されていることだけに注目しているからではないでしょうか。

差別のない社会をつくっていくためには、いろいろな状況に置かれている人のことをもっと知り、多様性を認め合うことが大切ニャン。



ふりかえり

1さんたちは、2ページのエピソードについて、次のように考えてみました。

1. 一人暮らし高齢者世帯のお話

高齢者が孤立することなく、安心して暮らせるよう、日頃から声かけや見守りをするなど、地域でできることはいくつもあると思う。

また、高齢者は犯罪被害者になりやすいといわれるけど、防犯という点で大事なのは「ご近所側からの関係づくり」だと思う。

「近所の人に声をかけられた。ジロジロ見られた」という理由で窃盗犯が犯行を諦めたという話を聞いたことがあるわ。普段からご近所側からコミュニケーションをとり、関係をつくれば、Dさんが犯罪に巻き込まれる前に周囲が気づくこともあるんじゃないかな。

環境やしくみに焦点をあてて、よりよい社会に変えていこうってことなんだにゃ！



2. ひとり親世帯のお話

引っ越してきたばかりで、しかもひとり親世帯であれば、困ったことがあっても、誰かに頼ることは難しいんだろうな。

困っているときって、ただ聞いてもらえるだけで救われたような気持ちになるもの。まずは、困りごとをご近所の人で聞けるようになるといいな。もちろん、これは誰が引っ越してきても同じで、孤立しないように耳を傾ける姿勢が大事だと思う。

ご近所で助けてもらえそうなことと、行政に相談することを整理できたら、Eさんもきっと元気が出てくるんじゃないかな。

だれひとりと のこ しゃかい 誰一人取り残さない社会に！

だれひとりと のこ しゃかい
誰一人取り残さない社会にするために、さまざまな措置が講じられています。

クオータ制

人種や性別、宗教などを基準に、一定の比率で人数を割り当てる制度のことをいいます。例えば政治分野におけるジェンダー・クオータを憲法や法律で定めている国では、議席の一定数や候補者の一定割合を女性又は両性に割り当てています。

児童扶養手当

離婚などによりひとり親となった家庭の親、または親に代わってその児童を養育している方、あるいは父または母が身体などに重度の障がいがある家庭の親に、児童の健全な成長を願って支給される手当です。なお、「児童」とは18歳の年度末までをいい、支給には所得制限が設けられています。

女性専用車両

痴漢行為から女性を守ることを目的に導入された鉄道車両のことをいいます。国土交通省が実施したアンケート調査によると、女性の9割近く、男性も6割前後が女性専用車両に賛同しており、現在では、大都市圏の鉄道路線のほとんどで採用されています。なお、小学生以下の男の子や、身体の不自由な方とその介護者の男性も利用できます。

生活困窮者自立支援制度

仕事・住まい・お金など、生活に困っている人の相談を受け付け、どのような支援が必要かを一緒に考え、一人ひとりの状況に合わせて具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

障がい者雇用枠

障害者手帳（身体・知的・精神）を所持している方を対象に設けられる採用枠のことをいいます。「障害者雇用促進法」では、一定規模以上の企業に障がい者を法定雇用率以上で雇用することを義務付けています。現在、民間企業の法定雇用率は2.5%ですが、2026年7月からは2.7%に引き上げられることになっています。

差別や格差で困っている人の権利を尊重し、その声に耳を傾けることが、誰一人取り残さない社会につながるんだね。



あいさん

国際基準から日本の人権状況を見てみると…

世界経済フォーラムが毎年発表する「ジェンダーギャップ指数」という男女共同参画に関する国際的な指数があります。2025年6月に発表された結果によると、日本の男女平等ランクは、148か国中118位で、前年と同じ順位でした。これは先進7か国中、圧倒的最下位（※1）です。そして近隣アジアの国々よりも低い順位（※2）です。順位が低い理由は、女性の政治参画と経済参画の分野（※3）にあります。

（※1 英国4位、ドイツ9位、カナダ32位、フランス35位、アメリカ42位、イタリア85位）

（※2 フィリピン20位 バングラデシュ24位 韓国101位 中国103位）

（※3 日本の分野別順位 教育66位 健康50位 政治125位 経済112位）

（上位5か国 アイスランド、フィンランド、ノルウェー、英国、ニュージーランドの順）



かふーし！甲ちゃん♡

「ルールを変えたら」の巻

かふーし：沖縄のことば。「幸せ」とか
「ありがとう」の意味。語源は「果報」



わたしたちは、生まれてから大人になり、老いて人生を終えるまでに様々な選択をします。しかし、LGBTQ+ であることやジェンダー、人種、民族、宗教、出身地、障がい、経済的背景などの違いにより、「自分らしい人生を歩む権利」が与えられず、人生の選択が奪われている人たちがいます。

わたしたちは、誰もがかけがえのない命を持つ存在です。どのような属性であったとしても、自分らしく学ぶ権利、働く権利、恋愛する権利、住む権利、健康を守る権利、結婚する権利、家族になる権利など、平等に生きる権利があるはずです。

一人ひとりが本来持っている権利を取り戻すためには、しくみを変えることが必要となります。構造的な差別や偏見がなくなり、同じ権利がすべての人に保障されるしくみをつくることこそ、誰一人取り残さない社会に向けて必要なことではないでしょうか。

甲賀市人権啓発教材 バックナンバー紹介

「人権尊重を しているから しているへ」

「そのとき ドアはひらいた？ もれなく すべての人に？」



人生のときどきに現れる「ドア」について考え合う教材です。

自分を起点にしつつ、広く社会にある課題にも目を向けることで、社会の不正に気づき、行動することの大切さを学ぶことができます。
(2024 年度作成)



「『社会モデル』で考えよう」



地域の身近な人権課題を支えるしくみについて考え合う教材です。

「今だけ・ここだけ自分だけ」の幸せから視野を広げ、「みんなに広がる持続可能な」幸せにつなげることを大切さを学ぶことができます。
(2025 年度作成)

